

中川悪臭の原因を特定

尾鷲市か 三重大に環境功績で ら感謝状

尾鷲市は10日、三重大の環境行政に大きな功績で感謝状を贈ることに決めた。尾鷲市と同大学は平成14年に文化教育や学術などの分野で相互発展を目指す相互友好協力協定を締結している。前田教授は平成17年7月から、市の委託でクチ

スボダム湖の水質調査で中川悪臭問題の原因を究明した大学院生物資源学研究所の前田広人教授と、紀北地区のレジ袋有料化を導いた人文学部の朴恵淑教授の活動が「市

南海日日新聞
2009年11月7日(土)

スーパーマーケットなどでレジ袋の無料提供を廃止、検討する「尾鷲紀北レジ袋有料化推進会議」の発起人となり、9月1日からの実施を実現させた。三重大からの旅費

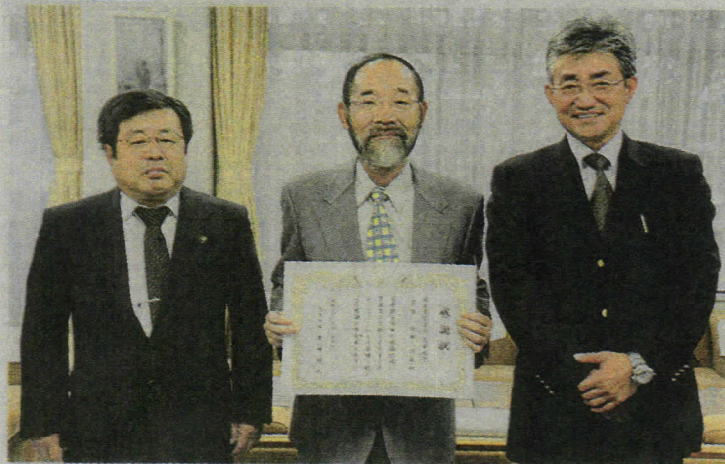
や飲食費などはすべて自費だった。PRポスターや啓発物品も提供した。

ダム湖異臭問題の原因究明など 実地研究貢献で 三重大に感謝状

尾鷲市

長が十日、同大を訪れ、内田淳正学長に感謝状を贈った。研究を行ったのは、

三重大の研究者が尾鷲市で行った実地研究が市民生活の役に立ったとして、岩田昭人市



岩田市長をから感謝状を受け取った内田学長(中)、前田教授(三重大)

生物資源学研究所の前田広人教授と人文学部の朴恵淑教授。前田教授は市内のダム湖から発生する異臭問題を調査し、原因を究明。朴教授は自身が発起人となって市内のレジ袋有料化を推進したことが評価された。

内田学長は「研究を地域のために生かせることができていることが光栄です」と話していた。

(久野賢太郎)

中日新聞
2009年11月11日(水)